

2025年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（専攻看護学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
看護学概論	1	長田 晶子	病院・施設・在宅での看護経験と教員経験から看護学概論を教授する。
基礎看護学基本技術	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が看護の基礎となるコミュニケーション技術や身体審査技術・感染予防などについて実技・演習を交えながら展開する。
		高松 由美子他	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が感染予防やプロセスレコードなどについて実技・演習を交えながら展開する。
基礎看護学日常生活援助技術	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が基本動作を踏まえながら根拠に基づいた日常生活援助技術が身につくよう実技・演習を中心に展開する。
		高松 由美子他	急性・慢性・終末期看護の実務経験がある専任教員が主に栄養・排泄の単元を教授する。また技術試験の評価についても担当する。
基礎看護学臨床看護総論	1	高松 由美子	急性・慢性・リハビリ・終末期看護の実務経験がある専任教員が入院～退院までの看護の流れやリハビリ期・終末期の患者・看護の特徴、また経過別にみた主要症状を教授する。
		木口 亜希	急性・慢性期看護の実務経験を有する専任教員が呼吸障害の症状と看護について講義・演習を行う。
		井上 郁恵	急性・慢性期看護の実務経験を有する専任教員が循環障害の症状と看護について教授する。
		神谷 新香	急性・慢性期看護の実務経験を有する専任教員が急性・慢性期の患者および看護の特徴を教授する、急性期・慢性期の患者・家族の特徴を教授する。
基礎看護学臨床外科看護総論	1	井上 郁恵 高松 由美子	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が周手術期における看護について講義・演習を行う。
基礎看護学看護過程	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が事例を使い実習現場で活用可能な思考過程が展開できるよう、演習を中心に進め記録を通し指導する。
基礎看護学診療の補助技術	1	井上 郁恵 高松 由美子	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が講義で治療・処置・検査を受ける対象への補助技術について必要な知識・技術・態度が身につくように演習を中心に展開する。
看護研究	1	高松 由美子	看護実践の実務経験がある専任教員が看護研究の種類や方法などを講義するとともに、文献研究の論文作成を行う。
地域・在宅看護概論	1	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある専任教員（保健師）である。在宅看護の歴史や背景から在宅看護の必要性について考え、グループディスカッションを通して在宅看護の概念を捉えていく。また、対象者の生活を支える様々な法律・制度・関連する職種とその役割など保健医療福祉の概要を理解し、在宅看護を展開することができるよう教授する。
暮らしを支える多職種	1	本松 邦恵 高松 由美子 井上 郁恵	病院・施設・訪問の分野で看護・リハビリテーションの実務経験がある複数の教員と、訪問リハビリテーション、訪問薬剤師の経験がある講師が担当する。本講義では人々のくらしを支える職種・役割や多職種間での連携手段・方法について学ぶ。また4学科合同事例演習を通して各職種の専門性や視点の違いに気づき、チームで連携・協働する意義を学ぶ。
暮らしのマネジメント	1	本松 邦恵	病院・施設・訪問の分野で看護の実務経験がある教員・講師が担当する。生活の場において支援を必要とする療養者とその家族の生活の質の維持・向上を目指した援助について学習する。また、グループディスカッションを通して対象の生活全体をマネジメントする概念を捉え、対象の生活を支援する看護の必要性について思考する力を養う。
地域・在宅看護の展開	1	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある教員が担当する。あらゆる価値観・生活観・ライフステージ・健康レベルにある対象に応じた看護過程の特徴とアセスメントの視点について講義を行う。また、療養生活の中で起こる問題の予測と対応など、様々な場面を想定したロールプレイを行い、看護の独自性・継続性を思考する力を養う。
地域・在宅看護援助論	1	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある教員・講師が担当する。各看護学領域や基礎分野・専門基礎分野で学んだ知識と技術を統合・応用した日常生活援助技術について講義する。また、情報収集・分析・判断を基に、安全安楽な医療処置・管理や指導方法など、療養者・家族の個々の価値観や生活観に応じた具体的かつ実践的な援助方法を思考する力を養う。
成人看護学概論	1	神谷 新香	急性期・慢性期・終末期の実務経験がある専任教員が成人期の生活と健康に関する基本的知識の理解基盤とし、多様な健康状態や健康問題に対応するための基本的考え方や方法について講義を行う。
成人看護学急性期看護	1	神谷 新香	急性期看護の実務経験がある専任教員が急性症状（循環器・呼吸器・消化器機能障害）をもつ対象の看護展開を、事例演習を取り入れながら講義を行う。
成人看護学慢性期看護	1	神谷 新香	慢性期看護の実務経験がある専任教員が慢性症状（循環器・消化器・内分泌・免疫機能障害）をもつ対象の看護展開を、事例演習を取り入れながら講義を行う。
成人看護学リハビリ期看護	1	神谷 新香	リハビリ期看護の実務経験がある専任教員が運動器・脳神経系・消化器機能障害を持ちながら回復段階にある対象の看護展開を、事例演習を取り入れながら講義を行う。
		高松 由美子	リハビリ期看護の実務経験がある専任教員が乳がんの術前・術後の看護とリハビリテーションについて看護の展開方法を教授する。
成人看護学終末期看護	1	神谷 新香	終末期看護の実務経験がある専任教員が肝臓・肝硬変で死期に近づいている対象の看護展開を事例演習を取り入れながら講義を行う。
		高松 由美子	終末期看護の実務経験がある専任教員が造血器疾患等の随伴症状である貧血・出血傾向・易感染状態にある人への看護について教授する。
老年看護学概論	1	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が高齢者を社会的存在の生活者として理解するために、ライフサイクルの中での老年期をとらえ、加齢に伴う変化の特徴とその健康生活について講義する。また高齢者を支える機関や、高齢者を取り巻く社会情勢について講義する。
高齢者の日常生活援助と看護	1	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が高齢者の生活機能の観点からケアを行い、様々な健康状態にある高齢者のQOLの向上や個性に応じた日常生活援助技術について講義・演習を行う。
高齢者の健康障害時の看護	1	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が老年期特有の疾病・健康障害について学び、老化と疾病・障害の程度に応じた老年看護の実践について講義・演習を行う。また人生の最期である看取りについて講義する。
小児看護学概論	1	木口 亜希	小児科の実務経験がある専任教員が子どもと最も密接に関わり、小児と家族の成長・発達の特徴、取り巻く社会環境を理解し、様々な健康状態および発達段階にある小児とその家族を対象とし、健やかな発達の支援を行うために必要な基本的な知識や方法について講義する。
小児看護学発達と疾病論	1	木口 亜希	小児科の実務経験がある専任教員が運動器や消化器疾患の疾病の特徴や治療、回復を促すための看護について講義する。
		芳野 信	小児科の臨床経験および研究実績を有する医師であり、当校の学校長が小児疾病の中でも先天性異常、循環器・呼吸器・血液・神経疾患、感染症について講義する。
小児看護学臨床看護実践論	1	木口 亜希	小児科および重症心身障害児病棟の実務経験がある専任教員が様々な健康状態にある小児の看護に関する基本的知識と技術を講義する。川崎病・気管支喘息患児の事例展開を通して、実践に向け、成長・発達、小児を取り巻く環境を理解し、小児および家族への関わり、健康増進へ向けた援助を講義する。

2025年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（専攻看護学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
母性看護学概論	1	中河 亜希	産婦人科での臨床経験や講義の実務経験がある専任教員（助産師）が「リアルティ・アライヴ」の概念に基づき社会の動向を踏まえて、女性と女性を取り巻く環境を理解し、健康支援の概要が理解できる講義を行う。
母性看護学各論Ⅰ	1	中河 亜希	産婦人科での臨床経験や講義の実務経験がある専任教員（助産師）が妊娠期・分娩期と新生児のケアがとれる基礎的知識が習得できる講義を行うとともに、命の神秘性や自分の誕生について考えられる講義を行う。
母性看護学各論Ⅱ	1	中河 亜希	産婦人科の臨床経験や講義の実務経験がある専任教員（助産師）が担当する。産褥期についての基礎的知識を講義し、母性看護学概論や各論Ⅰの学びを結びつけられるよう演習を取り入れながら講義する。
精神看護学概論	1	山口 仁子	病院で精神科看護経験した専任教員がこころの健康問題を理解するための知識や統計を学ぶとともに、精神障害者に関する法律や人権尊重と倫理について講義する。また、患者・看護師関係の援助関係について、精神科で活用される看護理論も含め学び、こころに障害を持った人への人間理解と看護師としての自己洞察能力を修得する基礎となる講義を行う。
精神臨床看護	1	山口 仁子	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員がこころの健康障害の分類や疾患・症状について学び、こころの健康障害を持つ人々の健康の回復、保持・増進、疾病予防の援助に必要な知識・技術を習得するために、臨床で経験した事例を提示したり、看護場面を想定したロールプレイを実施し、実際の臨床場面や看護を体験できる授業を展開していく。
精神看護の展開	1	山口 仁子	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員がこころに障害を持った対象とその家族に対してその人なりの健康の保持増進と自立を支援する方法や社会復帰を促進する援助について、批判的理論を含め講義する。また、事例を通して看護過程を展開させ、対象理解や看護介入方法を学び、看護問題に対する援助計画の立案や実際について理解できるための講義を行う。
看護管理	1	長田 晶子	看護師長等の臨床経験から看護の管理的側面を教授する。
医療安全	1	長田 晶子	看護師長等の臨床経験から医療安全の考え方や管理的側面を教授する。
統合学習Ⅰ	1	本松 邦恵 井上 郁恵 高松 由美子	病院・施設等で看護師としての実務経験をもつ専任教員が複数で担当する。解剖生理学・病理学の学習内容を系統別に分類し、看護学と関連させた問題を15回受験する。単元試験を通して専門基礎分野と看護の知識の統合を図る。
統合学習Ⅱ	1	高松 由美子 他	各看護専門領域の実務経験をもつ教員（全員）で対応する。事例学習を通して、問題解決能力・看護技術力を高める機会としている。
統合学習Ⅲ	1	高松 由美子 他	各看護専門領域の実務経験をもつ教員（全員）で対応する。国家試験対策の講義を実施後、その評価・復習として15回の試験を実施する。講義・自己学習・単元試験の学習サイクルを通して看護の知識の統合を図る。
基礎看護学実習	2	井上 郁恵 他	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が他の専任教員とともに既習した授業を生かし、実際の患者を通して看護過程の展開と日常生活援助の実際について実習指導していく。
地域・在宅看護論実習	2	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある専任教員（保健師）が訪問看護センター・保健センター・保健福祉事務所での実習を通して、地域で生活するあらゆる健康レベルにある個人・家族・集団を理解し、在宅看護を実践する基礎的能力を養うための指導を行う。
成人看護学実習	1	神谷 新香	周手術期看護の経験がある専任教員である。周手術期にある人を全人的に理解し必要な援助技術が習得できる指導する。
成人・老年看護学実習	2	神谷 新香 片山 美奈子	成人・老年看護の実務経験がある専任教員が成人・老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から全人的に理解し、加齢と健康障害の程度に応じ、対象の個性性を重視し、対象とその家族を含めた看護を展開・実践できるよう指導していく。
老年看護学実習	1	片山 美奈子	救急病棟から回復期・療養病棟で勤務した経験のある専任教員である。老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から全人的に理解し、加齢や老年症候群などにより不可逆的な老化の状態にある高齢者が在宅で生活していくためにはどのような「力」が必要になるかを考え、生活の質の向上に向けての援助が理解できる。
小児看護学実習	2	木口 亜希	小児科および重症心身障害児病棟での実務経験をもつ専任教員である。子どもの特徴を理解し、対象やその家族に対し、成長・発達促進や健康課題に応じた看護を実践する。小児実習Ⅰでは保育園にて子どもの特徴を理解し、小児実習Ⅱでは障害児との関わりを通して個人の成長・発達に応じた援助を学ぶ。小児実習Ⅲでは小児病棟での見学実習を通して急性期の小児への援助の実際を理解する。
母性看護学実習	2	中河 亜希	産婦人科での臨床経験や講義の実務経験をもつ専任教員である。実習では周産期の対象とのかかわりを通して身体的・心理的特徴を理解し、必要な看護を実践するための基礎的知識を習得する。また、新生児期・乳幼児期の子をもつ家族の暮らしと地域のサポートを理解する。
精神看護学実習	2	山口 仁子	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員がこころの健康問題をもつ人や家族との関わりを通して対象を全人的に理解し、こころの健康回復に向けての臨床看護を展開・実践できるよう指導していく。また、実際の看護場面を「シミュレーション」で再構成し、看護師としての自己洞察能力を養うための指導を行う。
統合実習	2	木口 亜希 他	病院・施設等で看護師としての実務経験をもつ専任教員が複数で担当する。病棟での「シミュレーション」実習、外来実習、看護管理実習を組み合わせ、看護ケアの「リアル」の実際を理解できるよう指導する。
合計	51 単位		